

## 北海道札幌琴似工業高等学校

課程 定時制  
学科 工業科  
生徒数 171名

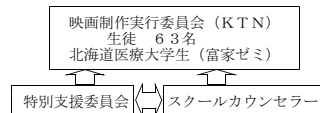
### 1 取組の特徴

コミュニケーションスキル教育の映画を制作する。

### 2 取組のねらい

映画制作をとおして、自己理解や他者理解、助け合い、支え合うなどの様々な人間関係を形成していくことにより、コミュニケーションスキルを身に付けさせ、不登校や中途退学の予防・未然防止を図る。

<組織図>



### 3 取組の経過

4月 映画紹介 (対面式) 第1回学校等適応検査	10月 映画撮影
5月 スタッフ会議、脚本読み合わせ	11月 スタッフ会議、映画撮影
6月 スタッフ会議、脚本読み合わせ	12月 映画撮影
7月 脚本読み合わせ、映画撮影	1月 第2回ミニ上映会、映画撮影
8月 映画撮影	2月 第2回学校等適応検査、 映画上映会
9月 第1回ミニ上映会、映画撮影	3月 集団カウンセリング授業

### 4 取組の内容

(1) 脚本読み合わせ



生徒玄関ホール(7月13日)

(2) 映画撮影  
「暴走族シーン(回想)」



生徒玄関前(7月25日)

(3) 映画撮影  
「暴走族解散シーン」



道警琴似庁舎前(8月5日)

(4) ミニ上映会①  
「中間発表会」



視聴覚室 (9月2日)

(5) 映画撮影  
「部活動シーン」



体育館 (10月20日)

(6) 映画撮影  
「家族シーン」



家庭科準備室(12月22日)

(7) 映画撮影  
「異空間シーン」



視聴覚室 (12月27日)

(8) 映画撮影  
「天使と天使」



視聴覚室 (12月28日)

(9) ミニ上映会②  
「ラストシーン」



視聴覚室 (1月18日)

### 5 次年度に向けて

#### 1 成果

- ア 中途退学者及び不登校生徒数の推移
  - ・新入生の中途退学者が前年比35%減少した。
- イ 生徒の変容した姿
  - ・映画制作を体験した生徒が、昨年度及び今年度とそれぞれ定時制通信制生徒生活体験発表大会に出場し、2年連続で全道優勝し、全国大会に出場した。
  - ・映画制作の体験から自己有用感が芽生え、中学校以来の不登校から立ち直ることのできた生徒が、多数見受けられた。
  - ・4年生が集会時に「映画上映会」への参加を積極的に呼びかけるなど、琴似工業高校定時制としての一体感が強まった。
  - ・映画制作の過程で、脚本や絵コンテ、録画、編集など、生徒の持つ様々な能力を発揮することができた。
  - ・映画制作に関わった1~3年生が「卒業生を送る会」を演出し、司会、進行、バンド演奏及びダンス等のパフォーマンスを演じて、過去に例のない大きな盛り上がりを見せた。
  - ・映画制作に多くの教員が役者、スタッフ、衣装作り及び音楽等で関わり、生徒との信頼関係が一層厚くなった。
  - ・警察官や大学生、プロのカメラマンなど、学校外の方々の全面的な協力をいただき、積極的に関わる中で、社会との連帯感が芽生えた。
  - ・映画制作をとおした生徒の変容に関心を寄せた保護者が、撮影現場を訪れていた。

#### 2 課題

- ア コミュニケーションスキルの育成と一層の向上
- イ キャリア教育の視点を加味した人間関係や社会性を育む指導

#### 3 次年度に向けて

- ア 4月当初から1年生を対象にした映画に基づく集団カウンセリング授業の開始及び教科
- ・科目における言語活動の充実とその検証
- イ キャリア教育を含めたソーシャルスキルトレーニングの実施による進路意識の高揚